

キ) 秋田県児童館連絡協議会の運営・指導

県内の児童館相互の連携と活動の充実を図るため、昭和42年7月に秋田県児童館連絡協議会を発足し、事務局を設置している。

表3-15 秋田県児童館連絡協議会

研修会	講演数	講演の延参加人数(人)
子どもにかかわる大人のための研修会～春の会～	1	102
ブロック別児童館長及び児童厚生員等研修会(3箇所)	2	217

なお、児童会館主催の児童厚生員等に対する研修は、「カ) 児童館関係職員やボランティアの養成」に記載している。

ク) 調査研究と健全育成活動の普及啓発

豊かな情操や創造性がかん養されるための児童の遊びや文化財を調査するとともに、遊びの開発や研究活動を行う。また、地域での遊びのグループづくりや子育てグループづくりの推進など、健全育成活動の普及啓発を図る。

iv) 子ども博物館の自主事業(平成15年度)

〈施設利用事業〉

ア) プラネタリウムの投映

一般投映について、平日は1日1回、土曜日・日曜日・祝日は1日2回おこなう。

団体投映は、予め申し込みを受け入れて希望時間に随時おこなう。

投映番組は年4回季節により入れ替えをする。

表3-16 プラネタリウム

内容	回数
一般投映	385
団体投映	69
合計	454

イ) 子どもクラブ

児童の余暇活動である校外クラブとして、科学、造形、情操を主な内容とした5つのクラブを実施する。

表3-17 子どもクラブ

クラブ名	活動内容	延実施回数 (回)
ねんどのへや	彫塑（人物、動物）、粘土のお面	12
子どものアトリエ	アトリエA スクラッチ、コースター、団扇、 肖像、卵殻画 アトリエB 肖像画、静物画	16
数と形のふしぎな世界	数や形のゲーム、パズル	10
おもしろ科学技術	科学遊び、製作・実験	10
科学クラブ	自然観察、科学実験、科学工作	10
合計		58

ウ) 夏休み・冬休み子ども講座

夏休み・冬休み中に、子どもまたは親子を対象とした集中講座を日替わりで実施する。

表3-18 夏休み子ども講座

講座名	内容	回数 (回)
郵便局たいけん	施設見学	1
昆虫壁掛け	チョウの模造品に着色	1
思い出絵本作り	絵日記などの絵本づくり	2
化石採集体験	男鹿市内で化石採集	1
絵本紙作り	切り絵による絵手紙づくり	1
アンモナイト壁掛け	化石の複製に彩色	1
オリジナルパズル	膨れる紙を使ったパズル作り	1
きれいな砂絵	糊つきの板と色砂で絵をかく	1
七宝焼きA	額絵の制作	1
七宝焼きB	額絵の制作	1
合計		11

表3-19 冬休み子ども講座

講座名	内容	回数 (回)
七宝焼き A	額絵の制作	1
砂絵で描く雪景色	発泡スチロール交えた色砂絵	1
七宝焼き B	額絵の制作	1
小鳥のモビール冬の森	小鳥のミニチュアでモビール制作	1
発電所たんけん	施設見学	1
親子で手芸	動物タオル掛け作り	1
昆虫壁掛け	テントウムシのミニチュアに彩色し、制作	1
オリジナルパズル	スポンジペーパーを切って着色	1
合計		8

エ) 親子教室

親子天文教室、親子木工教室を実施する。

表3-20 親子教室

教室名	内容	回数 (回)
親子天文教室	季節ごとの星座の解説と観察 月や惑星の観察 プラネタリウムでの学習	5
親子木工教室	焼き板細工他	10

オ) おもしろ広場

学校週5日制の実施に伴う事業として、館内施設及び周囲の環境を利用して、遊びを取り入れた観察や製作などの活動を実施する。

表3-21 おもしろ広場

テーマ	回数 (回)
スライム作り、ヒコーキ作り、シュリンクシート（キーホルダーを作る）、バルーンアート、石ころアート、万華鏡作り、ポップコーン作り、ガラス細工、べっこうあめ作り、自然のもの（貝殻や木の実など）をつかって工作をしよう、コースターを作ろう、オリジナルキャンドル作り、カルメ焼き作り（砂糖を熱して作る）、ガラス細工（マドラーを作る）、ポップコーン作り	20

カ) 記念事業等

4月の科学技術週間に「サイエンス映写会」や「サイエンス教室」の記念行事を開催する。5月の児童福祉週間に「鉄道と写真を楽しむつどい」（鉄道友の会と共催）をおこなう。7月31日・8月1日に「青少年のための科学の祭典」を開催する。

表3-22 記念事業等

内容	開催延 日数(日)
科学技術週間記念事業－サイエンス映写会（ビデオ上映）「宇宙へとびだせ！」	1
科学技術週間記念事業－サイエンス教室「温度のふしぎ（液体窒素他実験）」	1
鉄道と写真を楽しむつどい－鉄道模型運転会他	3
青少年のための科学の祭典（秋田大会）	2

キ) 児童・生徒の作品展

展示コーナーなどを利用して、県内小中学校の生徒や幼稚園の児童の絵画作品を計画的に展示する（「子ども博物館ギャラリー」）。また、年度末に選抜小学校10校のすぐれた絵画約100点を展示する（「選抜児童絵画展」）。

ク) ホームページの開設

施設の概要、毎月の行事案内や講座等募集案内を掲載する。

〈全県的活動としての事業〉

ア) 1日子ども博物館

セカンドスクールの利用等で全県各地の小中学校や子ども会などの団体が来館した際、会館の施設や機能を利用したプログラムを提供し、1日楽しく有意義に活動してもらう。

表3-23 1日子ども博物館

内容	団体数
グライダー製作、アルコールロケット、ペットボトルのフリスビー、プラネタリウム、ハイテクヒューキ、化石のレプリカ作り、等	36

イ) 移動子ども博物館

県内各地で、野外観察や科学工作を主体とした内容で、子どもたちに遊びを通して自

然と科学への興味と関心を高める事業を展開する。

表3-24 移動子ども博物館

内容	回数
万華鏡作り、化石のレプリカ作り、オリジナルキャンドル作り、ヒコーキ作り、アルコールロケット・バブロケット、シュリンクシート、ペットボトルロケット、アンモナイトの壁掛け	11

4 生涯学習センター

①主な施設

【本館】

表 4-1 主な施設

階	名称	面積 (㎡)	定員 (人)
5 階	会議室	45	16
	第3研修室	83	66
	第4研修室	44	30
	第5研修室	44	30
	和室 (30 畳+15 畳)	96	90
4 階	第1研修室	135	72
	第2研修室 (パソコンルーム)	83	20
	視聴覚室	128	70
	調整室	50	—
	試写室	45	—
	機材室	40	—
3 階	講堂	450	350
	講師控室	39	12
	小会議室	45	—
	第1交流室 (団体・グループ活動に利用)	—	—
	第2交流室 (同上)	—	—
1 階	情報提供・資料サービス室	331	—
	交流ホール	112	—
	食堂	137	60
B1	展示ホール	502	—

(注) 2階は管理事務関係のフロアである。

【分館】

表 4-2 主な施設

階	名称	面積 (㎡)	定員 (人)
3 階	大研修室	193	150
	研修室 4	96	50
	研修室 5	64	30
	研修室 6	64	15
	研修室 7	64	30
	倉庫	—	—
2 階	多目的ホール	193	150
	研修室 3	95	50
	練習室 1	50	5
	練習室 2	50	5
	練習室 3	73	50
	倉庫	—	—
1 階	研修室 1	64	30
	研修室 2	64	30

②主な事業内容

i) 総合的な県民学習事業 (秋田県民カレッジ事業)

表 4-3 総合的な県民学習事業 (秋田県民カレッジ事業)

主催講座	あきた学専修コース あきた歴史学 (中央キャンパス：生涯 学習センター)	近代あきたの先覚が工夫と知恵で編 み出した豊かな文化の軌跡をたど り、その輝きを再発掘するとともに、 「新しいふるさと秋田」を考える機 会とする。
	あきた学専修コース あきた自然学 (同上)	秋田の自然を探り、ふるさとのすば らしさを再発見する機会とする。
	あきた未来学コース あすの秋田を考えるセ ミナー (同上)	秋田の産業や文化・地域社会の姿を 学びながら、未来に向かって、活力 ある21世紀のふるさと秋田を展望す る。
	県北創造学コース (北キャンパス：大 館市立中央公民館)	秋田の自然を探り、ふるさとのすば らしさを再発見する機会とする。

	<p>県南創造学コース (南キャンパス：横 手平鹿広域交流セ ンター)</p>	同上
	特別講座	<p>中央キャンパス：「徹底解剖！秋田音頭」 北キャンパス：「体内時計のはなし」 南キャンパス：「平成あきた 発見の旅」</p>
連携講座		<p>広域的な学習機会を提供するために各種機関・団体と連携し、生涯学習情報誌「あきた学びピア・21ガイド」及び生涯学習支援システム「生涯学習 Info Akita」等により講座情報を県民に提供する。</p> <p>【平成15年度 連携団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村 69 ・民間団体 40 ・県・関係機関 32 ・高等教育機関等 15 <p>【平成15年度 講座数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードコース 4,317 ・パイオニアコース 63
学習手帳交付等		受講者に学習手帳を交付し、一定単位を取得した受講者に対して認定を行う。
マナビィ・スタッフアクション事業	マナビィ・スタッフ人材養成事業	「あきた県民カレッジ」単位修得者等が、広く指導者及びボランティアとして活動するために必要な知識・技術の習得を図るために、「マナビィ・スタッフ養成研修」や「マナビィ・スタッフレベルアップ研修」を行う。

	マナビィ・スタッフ自主活動支援事業	マナビィ・スタッフの企画による講座開催等の学習機会を提供し、学ぶもの同士が支え合う生涯学習社会の実現を図る。 マナビィ・スタッフ広報作成によるあきた県民カレッジ情報誌「あきた県民カレッジ2003」を発行する。
アートデザイン旬間		連携協力充実事業として、以下の講座等を実施。 ・オープニング広場（マナビィ・スタッフによる企画） ・事務局主催講座 ・高等教育機関による移動公開セミナー ・県関係機関による出前講座 ・自主学习、自主企画グループによる講座等

ii) スキルアップのための生涯学習・社会教育事業

表 4-4 スキルアップのための生涯学習・社会教育事業

社会教育関係職員研修	生涯学習入門講座	以下の視点から前期・後期（各2日間）研修を実施。 ・生涯学習社会における社会教育の基礎的役割と課題について ・魅力ある学習プログラムの作成や事業推進の実際について ・社会教育職員としての心構えや資質の向上について 【参加対象】 ・県社会教育関係職員、市町村派遣社会教育主事・スポーツ主事等 ・市町村教育委員会、公民館社会教育施設の社会教育関係職員 ・市町村教育委員会の社会教育指導員等
------------	----------	--

	生涯学習実践講座（兼）秋 田県公民館職員研修	以下の視点から前期・後期（各2日間）研修を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習・社会教育関連施策の動向と課題について ・現代的課題に対応した事業計画について ・リーダーとしての役割について 【参加対象】 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村教育委員会の次長、管理職及び中堅職員 ・市町村の公民館、図書館の長を含む管理職及び中堅職員 ・県及び機関の社会教育施設の関係職員 ・市町村の社会教育指導員、生涯学習奨励員、生涯学習（社会教育）推進員・アドバイザー・女性教育担当
PTA指導者研修		平成15年度は全4回開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・前期全県（6月14日）於、生涯学習センター ・後期県北地区（11月8日）於、大館市立中央公民館 ・前期中央地区（6月28日）於、河辺町総合福祉交流センター ・後期県南地区（10月19日）於、十文字町立十文字西中学校
自作視聴覚教材交流発表会		視聴覚教育を一層充実させるため、自作視聴覚教材の製作を奨励し、作品発表を通じて相互に研鑽・交流を図り、優れた作品については相互貸借等による活用を推進する。
IT講習推進事業		「よく分かるIT講習」を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン初級編 ・ワード・エクセル編 ・ホームページ作成編

iii)生涯学習ネットワーク事業

表 4-5 生涯学習ネットワーク事業

<p>生涯学習支援システム 事業</p>		<p>生涯学習の一層の普及・振興を図るため、講師・指導者・ボランティア情報等について全県の市町村教育委員会・生涯学習関係機関の情報共有化を図る。</p> <p>県民が生きがいを見いだす機会として、講座・講演会などの開催情報をはじめとする様々な生涯学習情報を広く一般県民に提供する。</p>
<p>生涯学習ボランティア ネットワーク事業</p>	<p>情報提供・相談協力事業</p>	<p>ボランティアバンクの存在を周知し、その活用を推進するために、各市町村教育委員会、各市町村公民館、各県機関等に以下の情報を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアバンク名簿 ・情報誌（ASVIC＝アスピック）
	<p>交流会事業</p>	<p>ボランティアに関わる人々の交流を図るため、以下の交流会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハートを生かそう！ボランティアミーティング ・ふるさとボランティア交流会

iv) 子育てネットワーク充実事業

表 4-6 子育てネットワーク充実事業

<p>スギの子e-mail・電話 相談</p>		<p>毎週火～土曜日（祝祭日、年末年始を除く）の午前9時30分～午後3時30分まで、乳幼児から高校生くらいの子供を持つ親等を対象に専用電話による相談を受付。</p> <p>【主な相談内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活、社会生活の基本的なしつけに関する事 ・身体的発育、健康、社会性の発達、性格の形成に関する事 ・知的な発達、情操、子供の心に関する事 ・その他、育児全般、家庭教育全般に関する事
<p>アクティブパパ交流事業</p>		<p>父親の家庭教育参加を促進するため、子育て中の父親と子供（または母親）を対象に以下のプログラム等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子陶芸体験 ・親子いもの子掘り体験 ・親子野焼き体験 ・親子林業体験 ・ファミリーミーティング（親子のふれあい体験を通して家庭教育の諸問題を考える） ・講演（「変質した日本のこども」と「父親の役割」） ・ロールプレイ（子育てワークショップ）
<p>インターネットによる 家庭教育情報提供事業</p>		<p>インターネットを活用して、県民に必要な家庭教育情報をリアルタイムに提供する。</p> <p>【主な提供情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナー（市町村・県等の事業を紹介） ・学習コーナー（家庭教育等に関する情報を提供） ・相談コーナー（e-mail相談） ・交流コーナー（わいわい掲示板）

v) 調査研究事業

大学等高等教育機関との連携・協力による、現代的課題に対応した学習プログラムの開発を目的とした調査研究を行っている。

表 4-7 平成 15 年度 調査研究委員会等の経過概要

日付等	委員会の名称	協議内容
H15. 7. 4	第1回 調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究テーマ・趣旨、具体的な内容について検討する。 ・今後の計画について確認する。 ・現代的課題の捉え方と連携のイメージをさらに明確化する。
H15. 9. 10	第2回 調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究テーマと趣旨を確認する。 ・調査の方法と内容について検討し調査表の項目等を吟味する。 ・市町村教育委員会を対象とした調査を加えて実施することとする。
H15. 9月～11月	調査の実施、及び調査結果の集計と仮分析	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学等高等教育機関対象調査 ・市町村教育委員会対象調査 ・生涯学習の実践者（あきた県民カレッジ主催講座受講者）対象調査
H15. 11. 28	第3回 調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果仮分析をもとに協議し、分析考察を深める。 ・モデルプログラム作成の内容と方法を検討する。 ・調査研究報告書作成の手順や日程等を確認する。
H15. 12 月～ H16. 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・調査集計結果の分析・考察のまとめ ・モデルプログラムの原案の作成 	
H16. 2月上旬	大学等高等教育機関との連携等に関する実践の先進地域への視察 (新潟県、福島県、山形県、宮城県、静岡県)	
H16. 2. 13	第4回 調査研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルプログラム案ならびに研究のまとめについて全体で検討・協議する。 ・調査研究のまとめについては、委員長の下で総合的な提言の形で集約する。
H16. 2 月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究報告書の印刷・製本 ・調査研究報告書の発送 	